

平成 27 年度 山田小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

6月1日(月)に開催された「山田小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
青葉台自治会	旭ヶ丘旭寿会	山田小学校
加茂町内会	加茂献寿会	山田小学校 PTA
若松町自治会	錦田地区地域包括支援センター	山田中学校
旭ヶ丘町内会	保護司会	山田中学校支援地域本部
三恵台自治会	加茂保育園	旭ヶ丘子ども会
民生委員・児童委員	旭ヶ丘幼稚園	三恵台子ども会
	旭ヶ丘幼稚園 PTA	エコリーダー

※当日参加者 26 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 旭ヶ丘町内会：昔のように、町内会同士の連携がとれた体制(協議会)・地域を作りたい。
- 加茂保育園：地域子育て支援センター「ひよこらんど」を開所した。
対象：3才以下のお子さん 開所時間：火・水・木曜日 9:00～15:00
園庭開放、育児相談も行っています。
- 山田小学校：山田小スクールガードの組織立ち上げを計画中。見守り登録等にご協力ください。
- 学校支援地域本部：学校と地域の橋渡しをし、良い学校作りを応援する地域の組織。
- 三恵台自治会：花壇作りをまもなく開始する(ウェルカムガーデン三恵台)。憩い・交流の場になる。

＜会場アンケート＞
話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 平日昼間の防災体制を整えよう！	8人
② 子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう！	12人
③ 地域コミュニティ協議会の設立を考えよう！	7人
④ その他	0人

※アンケートの結果、テーマ①②について話し合いました。(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「平日昼間の防災体制を整えよう！」

各団体の防災体制の現状と、校区全体が連携した防災体制(協議会)の必要性について話し合いが進みました。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
災害時の小学生の安全	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時に小学校への引き取りに親が行けない時、近所で自分の子どもを預かってもらえる人がいない家庭が多い。 ・学校は子どもを安全に帰すことが大前提 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に顔見知りの方がいれば、面倒みてもらえるのではないかな。
一貫した防災の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な問題が起きても、役員が変わる等の理由により解決に向け一貫した方法が継続できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・続けていける方法を知りたい。
校区の取りまとめ	<p>連携・助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昨年のきずなづくりトークで出た事を実践した。(昼間の体制、サブ班、長期任期の防災チームを作った) ・防災マニュアルを作り、勉強会を実施している。 ・災害時、共助が大切。外部の援助は期待できない。むしろ三島は助ける側に位置する。三島独自の方法を考えなくてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報交換(他地域の防災体制や啓発活動の方法など)や交流の場、連携が必要。普段から横のつながりがほしい。 ・協議会体制で、まずはいくつかの町内会が連携して助け合わなくてはならない。 ・体制作りのお手伝いをしたい。(地域包括支援センター) ・町内会長の顔を知らないとならない。
	<p>協議会が防災体制の中心になりうる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合自治会など、色々な所で別々に防災の話しをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会が行政と各町内の情報のやり取りする時など、キーポイントになってくる。 ・協議会の組織があれば支援を受けやすいし、他地域を助けることも可能になる。 ●協議会を早急に立ち上げて、市からの情報を末端にまで届く体制作り、位置づけをしっかりとしてほしい。 ・組織を一本化してほしい。
中学生は戦力になる	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生は昼間必ず町内にいる。中学生が戦力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市や消防が出前講座を実施する(AEDや三角巾の使い方など)
元気な高齢者を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・今の老人会は人助けはできない状況。 ・女性の方が元気。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会未加入の元気な高齢者や女性がいる。元気で動ける方の調査をする。 ・女性や元気な方に役割を当てる。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
町内会の体制見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・今の町内の体制ではやりきれない。市との連絡方法、避難場所への誘導、食事の配給など体制の見直しをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災は0として考え直す。町内会の事をしっかりさせる。(旭ヶ丘町内会)
マニュアル見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルが役に立たない。 ・マニュアルに頼ってばかりいられない。 ・個々の防災意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直し(初動体制、救助、人員の配置、夜・昼間の体制など)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ●行政からの正確で具体的な情報がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自助・共助+互助。近所へ声かけをしながら避難する。 ・ラジオ(ボイスQFM77.7)が一番良い伝達方法。
避難場所の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所が小学校と中学校に分かれているので、12町内まとまれない。 	
要援護者の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・母親が高齢で心配。災害時は、自分の身内を救うことで必死。 ・要援護者の名簿では、要援護者の連絡先は子どもとなっている場合が多いが、子どもが三島にいない例ばかり。 	

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇校区全体で連携・助け合いの体制がとれるように、協議会の立ち上げを検討しよう!
- ◇平日の昼間に戦力となる中学生を対象とした出前講座や、新たな人材発掘(動ける元気な高齢者や女性を調査)、マニュアルの再確認など、各団体でできる体制の見直しをしよう!



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
 各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう!
 次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね!

テーマ②

「子どもの安全のために地域ぐるみで取り組もう！」

子どもの安全を守るため、「まずはお互い顔見知りになること」と「通学路の安全対策」について話し合いが進みました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
顔見知りになれる機会を作る	他団体との交流	<ul style="list-style-type: none"> ●顔見知りになることが大切。 ・三恵台子ども会は子どもの減少により運営が困難になり、老人会に廃品回収の協力を求めた。その結果、子ども会と老人会がともよい連携がとれるようになってきた。 ・保護者で作った楽団が、地域の他団体の集まりで演奏会を行い、顔見知りになれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども会と老人会が協力。 ●廃品回収の収益で、年度末に各戸にごみ袋を配布する際、ご近所顔を知ってもらえる。 ●趣味を生かして、交流することもできる。
	子ども会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの顔がわからない。どこの子が把握できていない。 ・子ども会は地域の組織の1つとして存在しているが、会員になる子どもが実際は少ない。 ・学年が上がるにつれ、退会者が多い。少ない人数で運営していくのは大変。 ●親の都合で子ども会を退会してしまう。親の意識を変えなくてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会を強制参加にしてほしい。 ●シニアの方にサポートしてもらおう。 ●役員ではなくボランティアでも良いので、参加してもらおうよう募る。 ●子どもが小学校に入る前から、子ども会（地域の活動）に取り込む、声かけ。
	あいさつ&声かけUP	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの登園時、いつも挨拶を交わす人や声をかけてくれる人がいて安心感がある。 ・小学生は挨拶する時としない時の波がある。 ・中学生は以外と挨拶が多い。 ・顔を知らなくても挨拶をしよう。 ●不審者に思われぬ工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登園、帰宅時に見かける子ども達への声かけ。地域の方へ挨拶。 ・学校から子どもへ指導してほしい。 ・工夫1：挨拶カードを作る。いつも挨拶している方々へ子どもが作った（首から下げる）カードを配る。 ・工夫2：あいさつツバメのキャラクターを利用。親しみや興味が湧く工夫・PRをする

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
通学路の安全	スクールガードの組織化	<ul style="list-style-type: none"> ●山田小には他の小学校のようにスクールガードの組織がない。組織立ち上げに向けて計画中。 ・見守りを強制はできない。見守りをしてくださる方の登録をお願いしている。 ●児童にわかるように、登録者の顔写真を学校に掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理して組織を作っても長続きしないので、会議を重ね、有志の方を募りながら少しずつ組織化を行っている。 ●散歩中に見守りをしてもらおう等、気軽にやってもらう。その際、パトロールと判るような物(ベスト等)を身につけてもらう。 ●有志の方のやりがいにつなげることが大切。やる気とスクールガードへの参加率UPにつながる。
	車の規制	<ul style="list-style-type: none"> ●車の速度が速くて危険。横断する時、危ない。 ・雨の日、車の送迎が特に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車のスピード制限ができないか。 ・送迎可能な範囲を決めてはどうか。例:加茂公園や幼稚園の周りなど。
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・散歩の時など普段から、何かあった時に頼れるお宅や場所を探しておくとうい。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇子どもの安全を守るためには、まずお互いが顔見知りになることが大切。新しい交流の場や連携の機会を作ったり、既存の子ども会を活性化させよう！
- ◇安心してあいさつ・声かけができるように、不審者に思われぬ工夫や、親しみ・興味が湧くようなあいさつ運動を行ってみよう！
- ◇スクールガードの組織化に向け、見守りボランティアの方のやりがい向上や、気軽に参加できる方法を検討し、協力してくださる方の人数を増やしていこう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



